

Title	重建懐徳堂復元模型成る
Author(s)	柏木,隆雄
Citation	懐徳堂センター報. 2006, 2006, p. 3-4
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/24413
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

重建懐徳堂復元模型成る

財団法人懷徳堂記念会常務理事 柏木隆大阪大学大学院文学研究科長 柏木隆

雄

な平洋戦争末期、昭和二十年の大阪大空襲で焼失した重建懐徳堂の建物 大平洋戦争末期、昭和二十年の大阪大空襲で焼失した重建懐徳堂の建物 大平洋戦争末期、昭和二十年の大阪大空襲で焼失した重建懐徳堂の建物 大平洋戦争末期、昭和二十年の大阪大空襲で焼失した重建懐徳堂の建物

ても、ご依頼をお断りするわけにもいかないですなぁ」と破顔一笑。私どれたので、いささか心も軽くなって、青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出をいたしました。本城常務は青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出をいたしました。本城常務は青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出をいたしました。本城常務は青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出をいたしました。本城常務は青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出をいたしました。本城常務は青写真を熱心にご覧になって、ましい申し出を作って頂くわけにはいかないだろうか、とまことに厚かもとに復元模型を作って頂くわけにはいかないですなぁ」と破顔一笑。私どれたので、いささが、「こういうものが出てきたからには、竹中工務店とした。

お礼申し上げた次第です。 旨お知らせ受けました。まことに有り難いお計らいで、湯浅教授ともども ということでしたが、三ヶ月後の五月十三日、再び竹中工務店を訪れた時、 ということでしたが、三ヶ月後の五月十三日、再び竹中工務店を訪れた時、 ちを抑え切れませんでした。一応役員会の了承を取らないといけないので、 ももほっとして、これなら無理を聞いて頂けるのではないか、嬉しい気持

って頂けると大変ありがたいのだが、と申し出てしまったのです。さすがって頂けると大変ありがたいのだが、と申し出てしまったのです。さすがことにもう少し小さいサイズのものを縫長室、阪大中之島センターにも一つずつ作いの本性が出て、せっかく模型を作っていただくのなら、できれば総長室の事績と、阪大との深い関係などをお話なさっていることもあって、もの一般への開示や共同研究の拠点を目的の一つとした阪大中之島センターの支関ロビーにも同じような模型を作っていただくのなら、できれば総長室のを関ロビーにも同じような模型を作っていただくのなら、できれば総長室のを関ロビーにも同じような模型を作っていただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元模型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない、とお話元様型を竹中工務店のご厚意で作成していただけるかも知れない。

とで、いよいよ復元模型ができあがることになりました。関係についての費用は大阪大学文学研究科と懐徳堂記念会が負うというこ快く(?)受け入れて頂いて、設置する台やその他模型を作る上での資料の常務も呆れられたことでしょう。けれどもこの厚顔無恥な申し出も結局

下分の一の重建懐徳堂の模型を研究科長室に搬入された昨年十月五日の感 百分の一の重建懐徳堂の模型を研究科長室に搬入された昨年十月五日の感 関前には袴姿の書生でしまうか、先生でしょうか、何人かが談笑していない とされながら、取り出された模型は実に堂々として、まるで本願寺の大講 とされながら、取り出された模型は実に堂々として、まるで本願寺の大講 模型には人力車と車夫、荷車と荷車引きが小さくはありながら、盤石の存 住感をもって門前の往来に行き交う姿のままに据えられています。また玄 関前には袴姿の書生でしょうか、先生でしようか、何人かが談笑している 姿もあります。私は冗談にこの書生さんの顔を私の顔に描いていただけま せんかねえ、などと相変わらず馬鹿なことを申したりして、そこにいた関 係の方々の失笑を買いました。これらの人形は縮小の割合を形として示す ことで、建物の実在感をはっきりと感得できるようにと据えられるものだ そうです。

員、職員を合わせて六十名ばかりが式典に参加されました。戦前の懐徳堂記念会会員であられる荒田利男氏も出席され、文学研究科

大学校のでおられると挨拶されました。 とを喜んでおられると挨拶されました。 とを喜んでおられると挨拶されました。

元模型の文学研究科設置の報告を終えたいと思います。 一大型パネル三枚がかかり、講義に出る学生たちの目に触れることになりました。江戸時代の開講から百八十年、重建懐徳堂から大阪大学文学部に移した。江戸時代の開講から百八十年、重建懐徳堂から大阪大学文学部に移中央に堂々と五十分の一の復元模型が鎮座し、その傍らの壁に新しく凸版中央に堂々と五十分の一の復元模型が鎮座し、その傍らの壁に新しく凸版中央に堂々と五十分の一の復元模型が鎮座し、その日以来、文学研究科玄関模型の文学研究科設置の報告を終えたいと思います。